

## 蜘蛛の糸

あくたがわりゆうのすけ  
芥川龍之介

あるひ  
在日の事でございます。御釈迦様は極楽の蓮池の  
ふちを、独りでぶらぶら御歩きになつていらつしや  
いました。池の中に咲いている蓮の花は、みんな玉  
のようにまっ白で、そのまん中にある金色の蕊から  
は、何ともいえない好い匂が、絶間なくあたりへ  
あふれております。極楽は丁度朝なのでございま  
しょう。

やがて御釈迦様はその池のふちに御たたずみに  
なつて、水の面をおおっている蓮の葉の間から、  
ふと下のようすを御覧になりました。この極楽の  
蓮池の下は、丁度地獄の底に当つておりますから、  
水晶のような水を透きとおして、三途の河や針の山  
の景色が、丁度覗き眼鏡を見るように、はつきり  
と見えるのでございます。